

令和 3 年度 白沢小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本方針

広い視野をもち、心身ともに健康で、創造性と実践力に富む心豊かな児童の育成を目指す。

(2) 具体目標

『時代を拓く日本人を育てる』

○ よく学び考える子・・・「学力の基礎・基本」の確実な定着

○ 思いやりのある子・・・「他者を思いやる心」の育成

○ たくましい子・・・活動の源となる「体力」の向上

挑戦したりやり抜いたりする「たくましさ」の育成

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

創立 148 年を迎え、歴史や伝統、豊かな自然や文化によって培われてきた本校で学ぶ全ての児童に対し、全教職員が連携・協働し、充実した教育環境のもと、本校の教育目標の達成を目指す。そのためには、全ての教職員が教育への情熱と使命感をもち、児童・保護者・地域住民と協和し、創意と工夫・活力に満ちた教育活動を展開する。また、地域とともにある学校づくりを目指し、家庭や地域や企業とも相互理解を深め、三育（共育・協育・響育）の精神をもって地域の教育資源を活用しながら、知・徳・体のバランスのとれた力、挑戦したりやり抜いたりするたくましさ、自らの夢の実現や社会貢献を指向する志をもった児童の育成に取り組む。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

○(1) 楽しく居がいのある学校づくり

○(2) 生きる力を育む教育実践

○(3) 社会性の育成

(4) 地域と共にある学校づくり

(5) 資質向上の自己研鑽と経営組織の活性化

(6) 働き方改革を意識した校内事務の効率化

[古里地域学校園教育ビジョン]

夢や目標をもち、その実現に向けて、自ら鍛え、思いやる心を磨きながら、生きる力を身につける児童生徒の育成。

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法，教育基本法，学校教育法及び学校教育法施行規則並びに小学校学習指導要領，栃木県教育委員会施策，宇都宮市教育委員会の基本方針や努力点の示すところに従い，本校教育課程を編成する。
- (2) 令和 3 年度の本校の教育目標の実現を目指して，各教科等及び各学年間の関連を図り，系統的・発展的な指導ができるようにするとともに，地域や学校の実態及び児童の心身の発達段階と特性を十分に考慮し，特色ある教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- 【学 校 運 営】○児童も教師もいきいきと活動する学校，児童も教師も成長する学校，地域とともにある学校の実現による「信頼と魅力ある学校づくり」
- ・感染症対策を講じ，教育活動を工夫しながら，知・徳・対のバランスの取れた力の育成
 - ・教職員が児童と向き合う時間を十分かつ適切に確保するため，積極的に業務改善に取り組む組織作りの推進
- 【学 習 指 導】○一人一人が主体的に取り組みいきいきと学びあう児童の育成
- 【児 童 生 徒 指 導】○一人一人が自信をもち，共に支え合いながら，生き生きと活動する児童の育成
- 【健康（体力・保健・食・安全）】○生涯を通して運動に親しもうとする態度を育成し，体力や健康に関する知識や技能を身に付け，自他の生命を尊重しながら，安全な生活を営む児童の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価															
目指す児童の姿	A 1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 授業の中に学びあいの活動を取り入れ、課題を児童同士で解決するような授業展開を心がけていく。 ② 「白沢小学習の約束」や古里学校園で作成した「家庭学習のすすめ」を配布し、家庭と連携して学習習慣の形成に努める。	B	【達成状況】 <table><tr><td>A 1</td><td>R 2</td><td>R 3</td></tr><tr><td>児童</td><td>88.5%</td><td>90.0%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>90.9%</td><td>95.5%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>92.3%</td><td>89.9%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> ・児童の肯定的回答は 90.0%であり、指標の 80%を上回った。 ・今年度は全学年を通して自主学習の取組がより意欲的になった。 【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。	A 1	R 2	R 3	児童	88.5%	90.0%	教職員	90.9%	95.5%	保護者	92.3%	89.9%	地域住民		
	A 1	R 2	R 3																
	児童	88.5%	90.0%																
教職員	90.9%	95.5%																	
保護者	92.3%	89.9%																	
地域住民																			
A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 道徳において、相手の気持ちを考えたり、その時の自分の行動を考えたりする授業を実践していく。 ② 他の児童が行った、思いやりの行動を「ありがとうのふわふわ雲」に掲示することで、児童同士が互いのよさを認め合えるようにする。	B	【達成状況】 <table><tr><td>A 2</td><td>R 2</td><td>R 3</td></tr><tr><td>児童</td><td>84.7%</td><td>85.2%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>86.4%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>82.3%</td><td>88.9%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>95.2%</td><td>94.7%</td></tr></table> ・児童の肯定的回答は 85.2%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。	A 2	R 2	R 3	児童	84.7%	85.2%	教職員	86.4%	100.0%	保護者	82.3%	88.9%	地域住民	95.2%	94.7%	
A 2	R 2	R 3																	
児童	84.7%	85.2%																	
教職員	86.4%	100.0%																	
保護者	82.3%	88.9%																	
地域住民	95.2%	94.7%																	
A 3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、決まりやマナーを守って、生活をしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 本校の生活目標を明確化した「すてきな虹色白沢っ子」を継続する。また、月目標の提示方法や重点チェック期間、振り返り方を見直し、児童一人一人が「守ろう」という意識を高める工夫をする。 ② 各種便りを通して、重点目標への取組や児童の変容などを保護者や地域に知ってもらう。 ③ 生活のきまりや学習のきまり等の掲示物を作成し、児童の意識化を図るとともに、秩序があり安全な学校生活が送れるよう教職員が一体となって児童の育成に当たっていく。	B	【達成状況】 <table><tr><td>A 3</td><td>R 2</td><td>R 3</td></tr><tr><td>児童</td><td>77.1%</td><td>77.2%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>81.8%</td><td>95.5%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>88.9%</td><td>89.4%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr></table> ・児童の肯定的回答は 77.2%であり、指標の 90%を下回った。 【次年度の方針】 ・「新型コロナウイルス感染症対策」としてのきまりが多くある中での生活ではあるが、安全で楽しい学校生活が送れるよう「すてきな虹色白沢っ子」を継続していく。	A 3	R 2	R 3	児童	77.1%	77.2%	教職員	81.8%	95.5%	保護者	88.9%	89.4%	地域住民	100.0%	100.0%	
A 3	R 2	R 3																	
児童	77.1%	77.2%																	
教職員	81.8%	95.5%																	
保護者	88.9%	89.4%																	
地域住民	100.0%	100.0%																	

A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 古里地域学校園や児童代表委員を中心とした朝のあいさつ運動を実施し、意識化・実践化を図る。 ② 児童会による声を出してのあいさつ運動を継続するとともに、学級での指導として、会釈というあいさつの方法があることを、成長段階に応じて指導していく。 ③ 懇談会や各種便りを通して、家庭と連携して指導の徹底を図る。月に1回家庭でのあいさつチェックシートを活用し、習慣化を図る。 ④ 教職員が様々な場面で率先してあいさつする姿を見せることで、子どもへの意識化を図る。	B 【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>A 4</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>89.3%</td><td>90.8%</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>50.0%</td><td>90.9%</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>76.0%</td><td>83.0%</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td>95.2%</td><td>100.0%</td></tr> </table> ・児童の肯定的回答は 90.8%であり、指標の 90%を上回った。 【次年度の方針】 ・現状の①②を継続し、マスク着用のときのあいさつの声の大きさを鑑みると、会釈でのあいさつの習慣化を図る。	A 4	R 2	R 3	児童	89.3%	90.8%	教職員	50.0%	90.9%	保護者	76.0%	83.0%	地域住民	95.2%	100.0%
A 4	R 2	R 3															
児童	89.3%	90.8%															
教職員	50.0%	90.9%															
保護者	76.0%	83.0%															
地域住民	95.2%	100.0%															
A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 繰り返し学習したり、少し難しい学習に挑戦したりする場を意図的に作り、児童の意欲の向上や達成感に繋げるようにする。 ② グループやクラス・学年で自分たちの力で最後まで取り組むことで達成することができる経験を設定することで、達成感や成就感を味わわせる。また、最後まであきらめずに取り組めたことを認め励ましていく。	B 【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>A 5</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>86.6%</td><td>90.8%</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>72.7%</td><td>86.4%</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>74.6%</td><td>81.3%</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td></td><td></td></tr> </table> ・児童の肯定的回答は 90.8%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。	A 5	R 2	R 3	児童	86.6%	90.8%	教職員	72.7%	86.4%	保護者	74.6%	81.3%	地域住民		
A 5	R 2	R 3															
児童	86.6%	90.8%															
教職員	72.7%	86.4%															
保護者	74.6%	81.3%															
地域住民																	
A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、健康や安全に気を付けて生活している」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 健康について児童が実感を伴って理解できるように保健学習や学級活動における項目内容を充実させる。 ② 地域や保護者と連携して感染症対策の徹底を図るとともに、<u>その他の安全教育も委員会活動とタイアップしながら、児童主体の活動として継続する。保健委員会では安全面、体育委員会では怪我の予防等、児童が健康・安全を意識できるような取組を充実させる。</u>	B 【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>A 6</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>91.6%</td><td>88.4%</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>92.1%</td><td>91.6%</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td>95.0%</td><td>100.0%</td></tr> </table> ・児童の肯定的回答は 88.4%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。 ・感染症対策を十分に行い、健康への意識を高めていく。 ・②については、保健委員会が怪我の予防、体育委員会が安全面を呼びかけ、児童が健康・安全を意識できるようにする。	A 6	R 2	R 3	児童	91.6%	88.4%	教職員	100.0%	100.0%	保護者	92.1%	91.6%	地域住民	95.0%	100.0%
A 6	R 2	R 3															
児童	91.6%	88.4%															
教職員	100.0%	100.0%															
保護者	92.1%	91.6%															
地域住民	95.0%	100.0%															

A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 全体アンケート「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上	① 学級活動や児童会活動、縦割り班活動（児童会・清掃・給食）等において、児童一人一人が集団の一員としての自覚や責任をもち、互いに協力することのよさや自分のよさについて感じることができるよう、活動内容を工夫する。 ② 感染症対策を十分に行い、地域の人材・施設等を可能な限り活用し、多くの人や考え方に触れる機会を増やす。	B 【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>A 7</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>86.6%</td><td>90.8%</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>72.7%</td><td>86.4%</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>74.6%</td><td>81.3%</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td></td><td></td></tr> </table> ・児童の肯定的回答は 90.8%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。	A 7	R 2	R 3	児童	86.6%	90.8%	教職員	72.7%	86.4%	保護者	74.6%	81.3%	地域住民		
A 7	R 2	R 3															
児童	86.6%	90.8%															
教職員	72.7%	86.4%															
保護者	74.6%	81.3%															
地域住民																	
A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、外国語活動（英語）の授業や A L T との交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上	① 授業において、担当する教員が自ら積極的に英語を使う授業を展開するとともに、A L T を積極的に活用し、英語によるやり取りを行う活動を設定する。 ② A L T による給食時や休み時間の交流を行い、児童が英語に触れる機会を設ける。 ③ 外国語担当教員を中心に子どもたちの多様な活動の中で外国語が目に触れるよう、校内掲示を充実させる。	C 【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>A 8</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>89.2%</td><td>88.4%</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>95.5%</td><td>86.4%</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td></td><td></td></tr> </table> ・児童の肯定的回答は 88.4%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・掲示物などの環境整備は充実してきたので、①・②を中心に継続していく。	A 8	R 2	R 3	児童	89.2%	88.4%	教職員	95.5%	86.4%	保護者			地域住民		
A 8	R 2	R 3															
児童	89.2%	88.4%															
教職員	95.5%	86.4%															
保護者																	
地域住民																	
A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、宇都宮の良さを知っている」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上	① 宇都宮学に関するテキストを積極的に活用し、児童に宇都宮の良さを発信していく。 ② 郷土に対する誇りや愛情をもてるよう、身近な自然や文化について、生活科・社会科・総合的な学習の授業において学ぶ機会を充実させる。	B 【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>A 9</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>82.8%</td><td>85.6%</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>63.6%</td><td>77.3%</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>56.7%</td><td>53.4%</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td></td><td></td></tr> </table> ・児童の肯定的回答は 85.6%であり、指標の 80%を上回った。 ・道徳や総合で宇都宮について知る機会が増え、宇都宮に目を向けることができるようになった。 【次年度の方針】 ・①・②を継続していく。	A 9	R 2	R 3	児童	82.8%	85.6%	教職員	63.6%	77.3%	保護者	56.7%	53.4%	地域住民		
A 9	R 2	R 3															
児童	82.8%	85.6%															
教職員	63.6%	77.3%															
保護者	56.7%	53.4%															
地域住民																	
A10 児童は、I C T 機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、パソコンや図書等を学習に利用している」 ⇒児童の肯定的回答 80% 以上	① 一人一台貸与される端末を多様な場面で積極的に活用した授業を展開し、様々な機能（調べる・絵を描く・カメラ撮影等）に慣れ親む機会を設定する。 ② 市図書館等の貸出を利用し、必要な図書資料を豊富に準備し、学習に活用する。	B 【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>A 1 0</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>81.7%</td><td>89.2%</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>81.8%</td><td>100.0%</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>77.1%</td><td>74.5%</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td></td><td></td></tr> </table> ・児童の肯定的回答は 89.2%であり、指標の 80%を上回った。 ・1 人 1 台端末を積極的に活用できた。 【次年度の方針】 ・①②を継続していくとともに、さらに効果的な活用方法を検討していく。	A 1 0	R 2	R 3	児童	81.7%	89.2%	教職員	81.8%	100.0%	保護者	77.1%	74.5%	地域住民		
A 1 0	R 2	R 3															
児童	81.7%	89.2%															
教職員	81.8%	100.0%															
保護者	77.1%	74.5%															
地域住民																	

	A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は誰に対しても思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒地域住民の肯定的回答 80%以上	① 老人会による緑化活動を実施し、高齢者を身近な存在として受け止め、高齢者への感謝の心や敬う心を育てる。 ② ①の活動が難しい場合は、敬老の日近辺に、学級活動や生活科、総合的な学習、児童会活動などを通して、今の社会が成り立っているのは先人の努力があるからであることを伝え、高齢者への感謝の心や敬う心を育てる。	B	【達成状況】 <table><tr><td>A 1 1</td><td>R 2</td><td>R 3</td></tr><tr><td>児童</td><td>84.7%</td><td>85.2%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>86.4%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>82.3%</td><td>88.9%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>95.2%</td><td>94.7%</td></tr></table> ・地域住民の肯定的回答は 94.7%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・コロナ禍により、高齢者とのふれあいを実施することが難しい現状もあるが、高齢者に対するいたわりの心を育てるためにも、地域の高齢者と触れ合う機会を可能な限り設定し、継続して感謝の心や敬う心を育てていく。 ・次年度は指標に教職員の回答割合も加える。	A 1 1	R 2	R 3	児童	84.7%	85.2%	教職員	86.4%	100.0%	保護者	82.3%	88.9%	地域住民	95.2%	94.7%
A 1 1	R 2	R 3																	
児童	84.7%	85.2%																	
教職員	86.4%	100.0%																	
保護者	82.3%	88.9%																	
地域住民	95.2%	94.7%																	
	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「この学校の友達は、水や電気を大切にしたり、植物や動物を大切にしたりしている」 「児童は、環境問題や防災等の「持続可能な社会」について関心をもっている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 生活科・総合的な学習・理科・社会等、地域の自然・文化等を課題とした学習を、地域の方と連携し展開する。 ② 企業の出前講座や委員会活動等、さまざまな機会をとらえ、環境問題や防災等について、知る機会を増やしていく。	B	【達成状況】 <table><tr><td>A 1 2</td><td>R 2</td><td>R 3</td></tr><tr><td>児童</td><td>84.4%</td><td>85.2%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>40.9%</td><td>40.9%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> ・児童の肯定的回答は 85.2%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・児童にとって身近な事柄として捉えられるよう、①・②で意識を高める取り組みを進めていく。	A 1 2	R 2	R 3	児童	84.4%	85.2%	教職員	40.9%	40.9%	保護者			地域住民		
A 1 2	R 2	R 3																	
児童	84.4%	85.2%																	
教職員	40.9%	40.9%																	
保護者																			
地域住民																			
目指す学校の	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 校内支援委員会等により組織的な対応に努め、児童に必要な支援について定期的に検討する。 ② 特別な支援が必要な児童生徒に対して、個別の支援計画を作成・活用して、学校全体として指導に当たる。	B	【達成状況】 <table><tr><td>A 1 3</td><td>R 2</td><td>R 3</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> ・教職員の肯定的回答は 100.0%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。	A 1 3	R 2	R 3	児童			教職員	100.0%	100.0%	保護者			地域住民		
A 1 3	R 2	R 3																	
児童																			
教職員	100.0%	100.0%																	
保護者																			
地域住民																			

姿	A 14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① いじめゼロ集会やいじめアンケート、標語の募集の実施などにより、児童への意識化を図る。 ② いじめを未然に防ぐことを目的とした自己肯定感を高めるカードの活用（児童自身のよさの発見、友達からのよさの発見）を図る。 ③ 様々な場面でいじめの不当性を指導するとともに、道徳の授業等により児童の心を育てる。また各種便りやHP等の呼び掛けにより、家庭と連携を図り保護者の意識も高めていく。 ④ なかよしタイムや昼休み等、教員による巡視当番を実施し、いじめにつながるトラブル等の未然防止に努める。	B	【達成状況】 <table><tr><td>A 1 4</td><td>R 2</td><td>R 3</td></tr><tr><td>児童</td><td>98.1%</td><td>97.2%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>76.3%</td><td>72.0%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%</td><td>93.8%</td></tr></table> ・児童の肯定的回答は 97.2%であり、指標の 90%を上回った。 【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②③ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。	A 1 4	R 2	R 3	児童	98.1%	97.2%	教職員	100.0%	100.0%	保護者	76.3%	72.0%	地域住民	100.0%	93.8%
	A 1 4	R 2	R 3																
	児童	98.1%	97.2%																
教職員	100.0%	100.0%																	
保護者	76.3%	72.0%																	
地域住民	100.0%	93.8%																	
A 15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスを作ってくれる」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 児童のよさを称賛したり、活躍できる場を設定したりし、児童が自己肯定感をもち、安心して生活できるような学年・学級経営に努める。 ② 担任だけでなく、学校組織として児童の状態を把握し、支援策を検討し、児童への適切な支援に繋げる。	B	【達成状況】 <table><tr><td>A 1 5</td><td>R 2</td><td>R 3</td></tr><tr><td>児童</td><td>96.6%</td><td>96.4%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>88.9%</td><td>86.9%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> ・児童の肯定的回答は 96.4%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。	A 1 5	R 2	R 3	児童	96.6%	96.4%	教職員	100.0%	100.0%	保護者	88.9%	86.9%	地域住民			
A 1 5	R 2	R 3																	
児童	96.6%	96.4%																	
教職員	100.0%	100.0%																	
保護者	88.9%	86.9%																	
地域住民																			
A 16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 言語・文化の違いを理解し、児童への、日本語の指導を行うとともに、学級での温かな雰囲気づくりに努める。 ② 保護者のニーズを把握し、通訳や翻訳の必要性を相談し、保護者の学校理解がなされるよう努める。	B	【達成状況】 <table><tr><td>A 1 6</td><td>R 2</td><td>R 3</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> ・教職員の肯定的回答は 100.0%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。	A 1 6	R 2	R 3	児童			教職員	100.0%	100.0%	保護者			地域住民			
A 1 6	R 2	R 3																	
児童																			
教職員	100.0%	100.0%																	
保護者																			
地域住民																			

A 17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「自分は今の学校が好きである」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 児童の自己肯定感や主体性をさらに高めるために、各行事や児童会活動、クラスで協力する活動（長縄・ドッジボール大会・ロング昼休みを活用したクラス遊び等）において主体的に活動できる場を設定していく。 ② 児童の心の安定や居がいのある学校づくりのため、児童と教師の関わりをさらに深め、児童に寄り添い、児童を肯定的に捉えていく。	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>A 1 7</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>84.4%</td><td>87.6%</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>72.7%</td><td>95.5%</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>90.2%</td><td>87.3%</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr> </table> B ・児童の肯定的回答は 87.6%であり、指標の 90%を下回った。 【次年度の方針】 ・コロナ禍で学校の活動の場が縮小されている。その中でもできる活動を協議し、推進していく。（テレビ集会・PC の活動等）	A 1 7	R 2	R 3	児童	84.4%	87.6%	教職員	72.7%	95.5%	保護者	90.2%	87.3%	地域住民	100.0%	100.0%
A 1 7	R 2	R 3															
児童	84.4%	87.6%															
教職員	72.7%	95.5%															
保護者	90.2%	87.3%															
地域住民	100.0%	100.0%															
A 18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① <u>基礎力を養う朝の学習「プロジェクトS」を計画的に実施するとともに、読解力や語彙力、文章力等の向上を図る言語活動の取組を教職員共通理解のもと実践し、学力向上につなげていく。</u> ② 少人数習熟度別指導の特性を生かした指導方法の工夫（個別支援や学び合い活動等実態に応じた指導）を取り入れることにより、学力の向上を図る。	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>A 1 8</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>98.1%</td><td>97.2%</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>85.1%</td><td>82.7%</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td></td><td></td></tr> </table> B ・児童の肯定的回答は 97.2%であり、指標の 90%を上回った。 ・学校課題として国語科の語彙力・表現力を高めるための授業研究を積極的に行った。 【次年度の方針】 ・①については朝の学習の進め方を実態に合わせて変更しながら継続する。②は効果的であるので継続する。	A 1 8	R 2	R 3	児童	98.1%	97.2%	教職員	100.0%	100.0%	保護者	85.1%	82.7%	地域住民		
A 1 8	R 2	R 3															
児童	98.1%	97.2%															
教職員	100.0%	100.0%															
保護者	85.1%	82.7%															
地域住民																	
A 19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校に関わる教職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 学校図書館司書業務嘱託員、学校栄養士、かがやきルーム指導員、ALT、スクールカウンセラー等と、打ち合わせや情報交換の時間を確保するとともに、学校に関わる教職員どうし日常的な情報共有に努め、コミュニケーションを図っていく。	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>A 1 9</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr> <td>児童</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>81.8%</td><td>95.5%</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td></td><td></td></tr> </table> B ・教職員の肯定的回答は 95.5%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・指標を大きく上回ったが、引き続き教職員が協力して業務に取り組めるようにしていく。	A 1 9	R 2	R 3	児童			教職員	81.8%	95.5%	保護者			地域住民		
A 1 9	R 2	R 3															
児童																	
教職員	81.8%	95.5%															
保護者																	
地域住民																	

A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 業務の効率化が図れる取組を積極的に取り入れ、時間内に業務が遂行されるよう、計画的・組織的に取り組めるようにしていく。 ② 教職員の専門性を生かすとともに、校務分掌の主任のみが活動するのではなく、組織的な取組となるよう、教職員の連携を強化していく。 ③ 出退勤時間の管理により、教職員が時間を意識できるようにする。	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>A 2 0</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr> <td>児童</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>86.4%</td><td>86.4%</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td></td><td></td></tr> </table> B ・教職員の肯定的回答は 86.4%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・指標は上回ったものの、働き方改革は喫緊の課題でもあるので取り組みを継続していく。	A 2 0	R 2	R 3	児童			教職員	86.4%	86.4%	保護者			地域住民		
A 2 0	R 2	R 3															
児童																	
教職員	86.4%	86.4%															
保護者																	
地域住民																	
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① <u>地域学校園研修会や各部会等を定期的に実施し、連携を図る。</u> ② <u>あいさつ運動等、小中学校が連携した取組に関して便りやHP等による情報発信に努め、保護者や地域への周知を図る。</u>	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>A 2 1</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>67.7%</td><td>85.6%</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>95.5%</td><td>95.5%</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>87.1%</td><td>77.6%</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td>94.7%</td><td>94.1%</td></tr> </table> B ・保護者の肯定的回答は 77.6%であり、指標の 80%を下回った。 【次年度の方針】 ・今後のコロナ感染症による社会情勢にもよるが、可能な限り①②ともに継続していく。	A 2 1	R 2	R 3	児童	67.7%	85.6%	教職員	95.5%	95.5%	保護者	87.1%	77.6%	地域住民	94.7%	94.1%
A 2 1	R 2	R 3															
児童	67.7%	85.6%															
教職員	95.5%	95.5%															
保護者	87.1%	77.6%															
地域住民	94.7%	94.1%															
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 生活科、総合的な学習の時間の他にも奉仕作業や食農体験、地域の施設を活用した行事等、<u>地域素材や人材・施設を活用した学習を継続・実施していく。</u>	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>A 2 2</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>88.7%</td><td>87.6%</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>95.5%</td><td>100.0%</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>90.2%</td><td>84.5%</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td>95.0%</td><td>100.0%</td></tr> </table> B ・保護者の肯定的回答は 84.5%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・地域の教育力を生かした学習は、子供の学びの深化や生きる力を育むために有効な手段であるため、次年度以降も積極的に進めていく。	A 2 2	R 2	R 3	児童	88.7%	87.6%	教職員	95.5%	100.0%	保護者	90.2%	84.5%	地域住民	95.0%	100.0%
A 2 2	R 2	R 3															
児童	88.7%	87.6%															
教職員	95.5%	100.0%															
保護者	90.2%	84.5%															
地域住民	95.0%	100.0%															

A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒地域住民の肯定的回答 80%以上	① 交流行事や活動のねらいを十分検討し、心の交流につながる活動になるよう工夫を加えながら継続していくとともに、学びを地域に発信する機会を設けるなど、双方向性の交流を目指していく。	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>A 2 3</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>88.7%</td><td>87.6%</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>95.5%</td><td>100.0%</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>90.2%</td><td>84.5%</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td>95.0%</td><td>100.0%</td></tr> </table> B ・地域住民の肯定的回答は 100%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・家庭・地域・企業等との連携は欠かせないことであるので次年度も継続していく。 ・次年度は保護者の回答割合も指標に加える。	A 2 3	R 2	R 3	児童	88.7%	87.6%	教職員	95.5%	100.0%	保護者	90.2%	84.5%	地域住民	95.0%	100.0%
A 2 3	R 2	R 3															
児童	88.7%	87.6%															
教職員	95.5%	100.0%															
保護者	90.2%	84.5%															
地域住民	95.0%	100.0%															
A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」 ⇒教職員・保護者の肯定的回答 80%以上	① 日常的な点検・定期的な安全点検を実施し、教職員が組織的に施設・設備についての維持管理を行うとともに、改善が必要な個所については、迅速に対応する。 ② 機動班、学校業務嘱託員と十分連携を図りながら、施設修繕を行い安全の確保に努める。 ③ 学校行事等の特別な活動時には、臨時的な安全面の点検を実施する。	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>A 2 4</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>92.1%</td><td>93.3%</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td></td><td></td></tr> </table> B ・教職員 100%、保護者 93.3%の肯定的回答であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・本年度の取り組みは、①②ともに効果が上がっているため、来年度も継続していく。	A 2 4	R 2	R 3	児童	100.0%	100.0%	教職員	92.1%	93.3%	保護者	100.0%	100.0%	地域住民		
A 2 4	R 2	R 3															
児童	100.0%	100.0%															
教職員	92.1%	93.3%															
保護者	100.0%	100.0%															
地域住民																	
A25 学校は、学習に必要な I C T 機器や図書等を整えている。 【数値指標】 全体アンケート「児童は、パソコンや図書等を学習に利用している」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 一人一台貸与される端末を多様な場面で積極的に活用した授業を展開し、様々な機能（調べる・絵を描く・カメラ撮影等）に慣れ親む機会を設定する。I C T 機器の活用しやすくなるよう、配置等を工夫する。 ② 学習内容に関連する図書を整備していく。 ③ <u>地域学校園内の図書室の蔵書を借りる等して、学習で活用できるようにする。</u>	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th>A 2 5</th><th>R 2</th><th>R 3</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>81.7%</td><td>89.2%</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>81.8%</td><td>100.0%</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>77.1%</td><td>74.5%</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td></td><td></td></tr> </table> B ・教職員の肯定的回答は 100.0%であり、指標の 80%を上回った。 ・GIGA スクール構想を意識し、1人1台端末を積極的に活用できた。 【次年度の方針】 ・①②③を継続していくとともに、さらに効果的な活用方法を工夫する。	A 2 5	R 2	R 3	児童	81.7%	89.2%	教職員	81.8%	100.0%	保護者	77.1%	74.5%	地域住民		
A 2 5	R 2	R 3															
児童	81.7%	89.2%															
教職員	81.8%	100.0%															
保護者	77.1%	74.5%															
地域住民																	

本校の特色・課題等	B 1 地域学校園を基盤とした交流・教育活動を実施する。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 学年・発達段階に応じた交流活動のねらいと実施内容を全職員が共有し、全職員の共通理解のもと系統的に交流が図れるよう工夫していく。 ② 行事や交流活動等や日常的な情報交換を行い、小中の相互理解を図る取組を工夫していく。	B	【達成状況】 <table><tr><td>B 1</td><td>R 2</td><td>R 3</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>95.5%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> ・教職員の肯定的回答は 95.5%であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・学年・発達段階に応じた交流活動のねらいと実施内容を整理し、共通理解のもと引き続き系統的に交流が図れるよう工夫していく。	B 1	R 2	R 3	児童			教職員		95.5%	保護者			地域住民		
	B 1	R 2	R 3																
児童																			
教職員		95.5%																	
保護者																			
地域住民																			
	B 2 新型コロナウイルス感染症対策並びに新しい生活様式を意識して教育活動を進める。 【数値指標】 全体アンケート「学校は感染症対策並びに新しい生活様式を意識しながら教育活動を進めている。 ⇒教職員・保護者・地域の肯定的評価 80%以上	① コロナ禍における適切な環境づくりとして教室の換気を徹底するとともに、少人数による短時間のグループ活動など感染症対策に十分配慮しながら学習活動を行う。 ② 三密を解消するために、今までの教育活動を見直し、工夫をしながら全職員の共通理解のもと諸活動を進めていく。 ③ 活動後の石鹸による手洗いや、アルコールによる消毒、マスク着用など、新しい生活様式を意識した生活ができるよう各教室で十分指導するとともに各種便り等でも周知していく。	B	【達成状況】 <table><tr><td>B 2</td><td>R 2</td><td>R 3</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td>96.8%</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td>94.3%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td>100.0%</td></tr></table> ・教職員 100.0%、保護者 94.3%、地域 100.0%の肯定的回答であり、指標の 80%を上回った。 【次年度の方針】 ・コロナ感染症が収束するまで①～③について継続し、コロナ感染症対策を十分考慮した学習環境づくりを進めていく。	B 2	R 2	R 3	児童		96.8%	教職員		100.0%	保護者		94.3%	地域住民		100.0%
B 2	R 2	R 3																	
児童		96.8%																	
教職員		100.0%																	
保護者		94.3%																	
地域住民		100.0%																	

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

本校として昨年度との経年比較をした場合、多くの質問項目において肯定的回答割合が上がっているか昨年度の状況を維持している。特に質問項目 A 2 「児童生徒は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 A 3 「児童生徒はきまりやマナーを守って、生活している」 A 4 「児童生徒は、時と場に応じたあいさつをしている」 A 5 「児童生徒は、健康や安全に気を付けて生活している」においては、教職員、保護者共に昨年度を大きく上回る評価となっている。教職員がそれぞれの役割を果たし、各種取り組みを進めることで、児童の変容が見られた結果と考える。以下重点目標を中心に分析する。

1 【学校運営】 児童も教師もいきいきと活動する学校、児童も教師も成長する学校、地域とともにある学校の実現による「信頼と魅力ある学校づくり」

コロナ禍ではあったが、日々の教育活動、学校行事など内容の見直しや工夫を図りながら知・徳・体バランスの取れた力を育成してきた。例年通りの教育活動ができない中ではあったが、全教職員が一丸となって協力し合いながら業務に取り組んできた。その結果として「誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」「きまりやマナーを守って、生活している」「時と場に応じたあいさつをしている」「夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」の評価指標で教職員、保護者の評価が昨年を上回った。また「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」の評価項目についても 9 割近い評価となった。

反面、「『小中一貫・地域学校園』の取組を行っている」「学校は家庭・地域・企業等と連携・協力して教育活動や学校運営の充実を図っている」の項目について保護者の評価を下げてしまった。新型コロナウイルス感染症の関係で児童・生徒同士の人的交流は大幅に制限されてしまった部分が多かったが、中学校教員の乗り入れ授業や宮っ子チャレンジでの中学生との交流など子供たちにとって有意義であった。今後も感染状況を見ながら進めていくとともに、情報の発信等を工夫するなど、次年度に向けて改善を図っていく。

2【学習指導】 一人一人が主体的に取り組みいきいきと学びあう児童の育成

コロナ禍で学習活動が大きく制約される時期もあったが、児童の学びに対する主体性を高めるため、授業内容の工夫や形態の工夫、今年度より始まった GIGA スクール構想の一環として、Chromebook を積極的に使った授業展開等、児童の知的好奇心を喚起されるように授業を進めてきた。結果として、「児童生徒は、授業中、話をしっかりと聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる」の評価指標で教職員・児童共に昨年度の割合を上回るとともに、全ての評価対象で 9 割近い肯定割合となった。今後も分かる授業の実践はもとより、好ましい学習態度や学習習慣の定着を目指し支援していく。

3【児童生徒指導】 一人一人が自信をもち、共に支え合いながら、生き生きと活動する児童の育成

コロナ禍で生活様式が大幅に変わった中ではあるが、児童はいきいきと活動している様子が見られる。学校運営の中でも触れた通り、非常に制約が多い学校生活であったが、「思いやりの心をもって優しく接している」「きまりやマナーを守って生活している」「時と場合に応じたあいさつをしている」等の評価指標において、昨年よりも高い値となった。しかし、「学校はいじめ対策に熱心に取り組んでいる」の評価指標は昨年を下回ってしまっている。児童同士のトラブルについては、十分話を聞き、子供に寄り添った指導を行っているが、今後も引き続き「いじめ」を許さないという基本姿勢を崩さず児童の成長を支援していく。

4【健康（体力・保健・食・安全）】 生涯を通して運動に親しもうとする態度を育成し、体力や健康に関する知識や技能を身に付け、自他の生命を尊重しながら、安全な生活を営む児童の育成

石鹸を使つての手洗い指導や消毒液の設置などの衛生環境対策や、なかよしタイム・昼休みの外遊び奨励、体力づくりの持久走やなわとびなど運動の場の設定により進んで運動に取り組む児童が増えることで健全な生活につながっている。また食に対する部分では、感染症対策を講じての給食配膳や前を向いての黙食などをすることで安全な生活への意識向上につながっている。しかし、コロナ禍が長期化することで、ソーシャルディスタンスの徹底やマスクの着用などの面でゆるみが見られている。引き続き家庭と連携を図りながら健康指導を進めていく。

7 学校関係者評価

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大が繰り返され、学校生活や学習に多大な影響を受ける中、ほとんどの質問項目において指標を上回ったことは、教職員の方々が一体となって、工夫と努力をした取組の成果であると考えられる。
- ・特に、A2からA5の児童の意識や生活に関する質問項目については、教職員と保護者の肯定的な回答が大幅に増加しており、昨年度と比較し大きく改善した点であるので、今後も引き続き、今年度の取組を継続するとともに、これまで以上に児童に寄り添いながら、コロナ禍に対応した取組をお願いしたい。
- ・「学校全体に活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。」については、児童の肯定的回答が指標を下回っており、コロナ禍における学校生活への影響が大きいと考えられるので、コロナ禍においても児童が積極的に活動に取り組めるよう、さらなる工夫をお願いしたい。
- ・「児童は宇都宮の良さを知っている。」や「児童はICT機器や図書等を学習に活用している。」、「学校はいじめ対策に熱心に取り組んでいる。」、「学校は『小中一貫・地域学校園』の取組を行っている。」については、学校として積極的に取り組んでいるものと思われるが、教職員と保護者の回答が大きく乖離していることから、学校の取組内容を保護者と共有し、理解促進につなげられるよう、学校だよりや学校ホームページ等のICTを有効に活用して、タイミングよく効果的な情報発信に努めていただきたい。特に、本市の重点取組である「宇都宮学」や「GIGAスクール構想」については、積極的な情報発信をお願いしたい。
- ・前例のないコロナ禍の中、教職員の方々には大変なご苦勞をされていると思います。今後も児童が安心して学校生活を送ることができるよう、地域としてもできる限りの協力をしていきたいと思います。引き続きよろしく願いいたします。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- 校内評価や保護者、児童、地域協議会委員の皆様方から寄せられた貴重なご意見をもとに、具体的な検討を行っていく。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を念頭に、学習支援ボランティアの他、学習指導や児童指導等、可能な範囲で地域の教育力を生かした教育活動の充実や開かれた学校づくりの推進に努める。
- ・児童が、生き生きと充実した学校生活を送れることを目指し、一人一人の自己肯定感を高められるように、認め・励ます声掛けや支援を継続していくとともに、コロナ禍においても児童が積極的に活動に取り組めるよう教職員との良好な人間関係づくりに努めていく。
- 「宇都宮の良さ、ICT 機器の活用、いじめ対策、小中一貫・地域学校園」、GIGA スクール構想の実践について教職員間で共通理解、工夫改善を図りながら、地域・家庭への協力依頼と周知に努めていきたい。また、取り組んだことを、ホームページや学校だより、学年だより等で発信していく。